



### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

岡山県の中山間地域に位置する矢掛高校では、過疎化と共に衰退していく地方の活性化を行うことが「持続可能な社会」の第一歩だと考えている。「地域に支えられ、地域を支えていく学校」として、ESD系の授業やイベント等を通じて実践的に学び、卒業後も「持続可能な社会」を形成できる力と意志を培っていった。

#### ESD系の授業

##### ① 環境CQ（キャリア・クエスト）【総合的な学習の時間】

1年生で「持続可能な社会の形成者」としての観点で将来の生き方（進路）を考え、2年生でその視点から実践できる様々な「学生コンテスト」に応募していく。

##### ② やかげ学【学校設定科目】

2年生の1学期に町内の専門家から矢掛町のことを教えていただく。その町への理解をもとにして、2年生2学期から3年生の夏休み終わりまで、毎週木曜日の午後、町内14の施設で仕事のお手伝いをさせていただく。一年間同じ施設に通い続け、現実の仕事の一端を担うことで、地域の方々とのコミュニケーション力をつけていくと共に、キャリア意識や社会人対応力を育てていく。3年生の終わりには2年間の成果を「やかげ学発表会」で町内外の方々に聞いていただく。

##### ③ 商店街コラボ商品開発【課題研究】

町の商店街と協力して新しい矢掛町の名物を毎年一つは開発し、秋の宿場祭りで販売する。地域ビジネス科の「課題研究」の授業の一環として行う。

#### ESD系の学校企画

##### ① ESD講演会【5月】

開校記念日に全校生徒が体育館に集まり、ESD関係の大学教授や研究者、実践者からお話を拝聴する。その講演会での話をもとにレポートを作成し理解を深める。

##### ② 白石島ESDプログラム【7月】

少子高齢化が進む瀬戸内海の島で、様々な「持続不可能性」を体験しながら、そこで実践されている「持続可能性」を挙げていくための試みを見つける一泊二日の学習合宿。

##### ③ 真庭バイオマスツアー【8月】

「バイオマス」を柱として行政 - 企業 - 住民がまとまっている真庭町を訪れ、持続可能な地域社会を形成していくためのヒントを探す。

##### ④ 徳島県上勝町視察【8月】

高齢化が進む中山間地域において、ごみのリサイクルやICTの積極的な導入で地域を活性化させている成功例を見学し、様々な町づくりの可能性を考える。

⑤ スイゲンゼニタナゴの飼育・繁殖

絶滅危惧種の「スイゲンゼニタナゴ」を、環境科やサイエンス部が中心になって飼育・繁殖させる。

⑥ エコ広場 / 交流教室・フォレスト

県産材やリサイクル資材で作られた「エコ広場」や「交流教室・フォレスト」をうまく活用し、環境学習の推進やユネスコスクール交流などを促進していく。

⑦ YAKO アワード【3月】

生徒たちが行ってきた一年間の特徴的な活動を、全校生徒の前で発表し合い、全校生徒がその活動を評価し合っていく報告発表会（全校生徒参加、希望者発表）。いろいろな生徒がいろいろな興味関心によって面白い活動をしている状況を、生徒同士でシェアリングしていき、これからの自分の活動の参考にしていく。約 10 団体ほどが毎年発表を行っている。

ESD 系の校外企画

① お祭りコラボ

春の「流し雛祭り」、夏の「行燈祭り」、秋の「宿場祭り」、冬の「山ノ上干し柿祭り」など、四季折々に開催される地域のお祭りにスタッフやボランティアで参加し、地域活力の担い手としての学びを得る。

② YAKO ボランティア

定期考査の最終日に行われる近隣の保育園や高齢者施設へのボランティアに参加し、地域を支える福祉活動での学びを得る。

③ 小・中・高校生連携

小学生、中学生、高校生が連携し、町でやってみたいことを自分たちの力で実現していく「YKG60」という団体と協力し、町を舞台に企画を実現していく力を育成する。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）